

昭和三年
七月

淺間山の大噴煙

長野測候所

七月七日午前十一時四十六分頃の大噴煙

淺間火山觀測所よりの報告によれば午前十一時四十六分頃より約二十分間雷鳴の如き又大砲の如き鳴響を聞く、淺間山は濃霧に包まれ噴煙狀況不明なるも大噴煙に際し戸障子に振動は與へざりき。

當時風向は南西なりしたため噴煙は上州方面に靡く而して去七月一日開所以來噴煙多量なりしも五日來噴煙頓に減少し鳴響は比較的強くなりたり。

七月十二日午前九時十一分の大噴煙

同觀測所よりの報告によれば此日の大噴煙は鳴響を伴ひ空震ありて降灰なし。

七月十四日午前六時

追分支所よりの報告によればゴー／＼と云ふ音響と共に稍黒色の噴煙昇騰す、地震記象降灰等なし。